

# 大野川だより(第10号)

大野川に関する情報を行政と地域の皆様で共有することにより、よりよい地域づくり、川づくりができると思います。大野川だよりは、大野川の情報(主に国管理区間)を地域の方々にお伝えする手作り情報誌です。

今月号は、冬の風物詩第2弾として大野川下流における冬の代表的な漁、アオサ漁を紹介します。

## 特集 大野川、冬の風物詩(2)～青海苔(アオサ)の収穫～

アオサは、海水と淡水が交わるところ(汽水域)にできる植物です。アオサ採りの起源は不明ですが昔から小中島地区の産物として収穫されてきました。現在は、汽水域(きすいいき)が上流に移動したことから収穫場所もだいぶ上流へ移動しています。アオサ漁は、通常12月～3月まで行われます。

### アオサの収穫方法

アオサの収穫は、写真-1のように3mほどあるアオサかきを使い水中のアオサを舟の上にかき上げます。昔は一かきするとアオサが連なって採れたそうです。写真-2は採れたてのアオサです。長さが50cm～1mほどありました。



写真-1 アオサ採りの様子

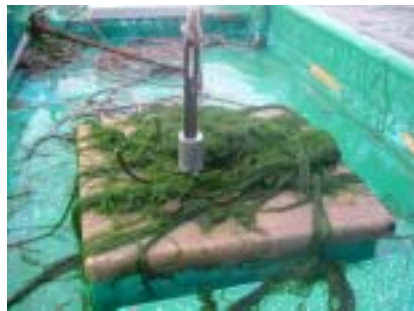


写真-2 採れたてのアオサ

鶴崎漁協のみ  
なさん取材協  
力ありがとうご  
ざいました。



写真-3 アオサの天日干し

### 天日干し

採れたアオサは、大野川の河川敷で天日干しされます。晴れた日ですと1日で乾燥します。

### 出荷

天日干しされたアオサは関東や関西に出荷されます。通常、年間出荷量は200～300kgとのことです。昔から大野川のアオサは色、香り、品質の良さで名が知られています。

### アオサの用途

アオサは、みなさんご存じのお好み焼きのふりかけやあられの香味として使われています。

いつまでもアオサが採れる大野川を守りましょう！

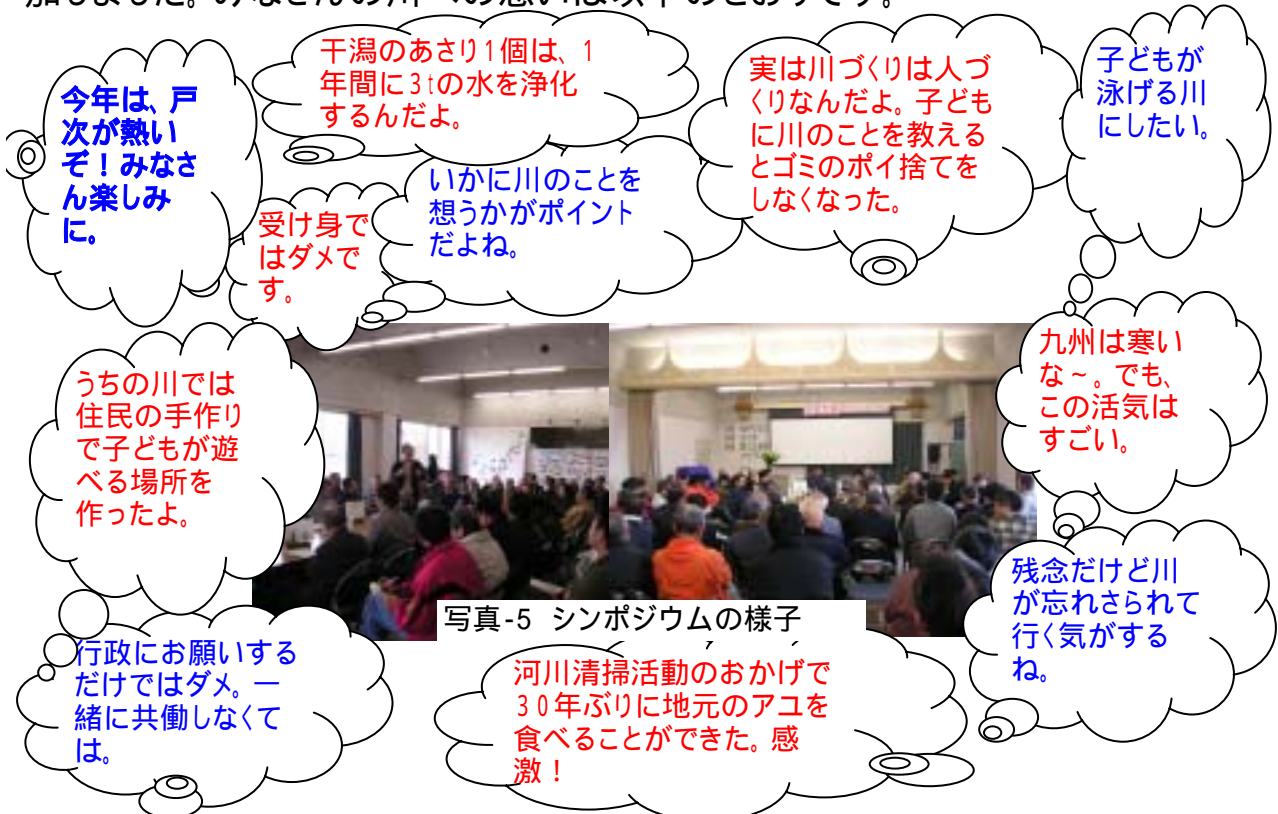


写真-4 アオサをかけたお好み焼き

注)アオサ採りは鶴崎漁協の許可が必要です。

## 最近の出来事 熱かった河川シンポジウム

2月27日 河川シンポジウム「いい川・いい顔づくり」(主催:NPO法人河童倶楽部)が犬飼町中央公民館で行われました。当日は老若男女いろんな方が参加され、大野川流域以外からは山国川、寄藻川、八坂川、三隈川、高瀬川流域の方々等も出席されました。遠いところでは、岩手県から、また、韓国の留学生も参加しました。みなさんの川への想いは以下のとおりです。



詳しくは大野川流域懇談会のホームページをご覧ください。

(<http://www.ohno-river.com/>)

## 大野川を安全に利用するための提言(案)

3月11日「大野川における安全確保のあり方に関する検討委員会(最終回)」が行われ、『大野川の川遊びの楽しさと恐さを知るための提言(案)(以下、提言)』について審議がありました。提言のポイントとしては、平常時と緊急時の具体的な取り組みを車の両輪と見立てて実践してゆく。の両輪を回す軸として関係機関(学校、NPO、地域、警察、消防、河川管理者等)が連携を強化し川遊び勉強会(仮称)を設置する。川遊び安全サイクルの実現に向け、平成17年度からできることに着手するとのことでした。～地域のみんさんご協力お願いします～

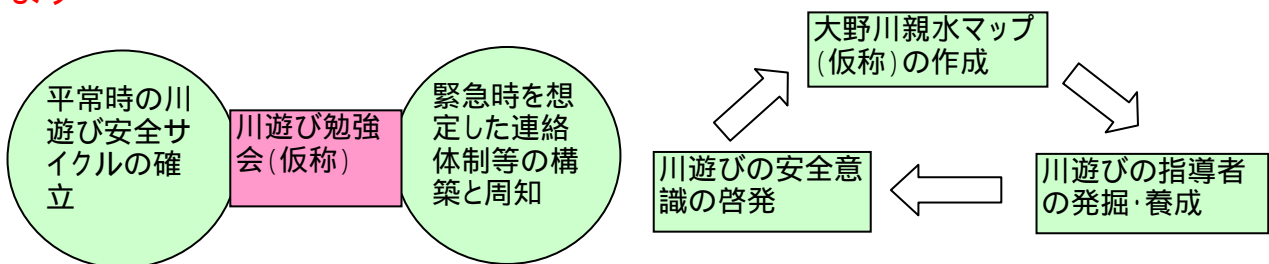


図-1 提言のイメージ

図-2 川遊びの安全サイクルのイメージ

## 4月の工事、調査業務情報

4月に大野川では次のような工事や調査業務を実施する予定です。

工事、調査業務名	施工場所	担当部署名
維持工事	大野川出張所管内	国交省大野川出張所
白滝橋上部工工事	白滝橋	国交省別大監督官

備考1) 担当部署名の国交省は国土交通省大分河川国道事務所の略

備考2) 維持工事は堤防や舗装の軽微な補修で、河川施設の機能回復を行うものです。

## 大野川をゆく(8回目)～大野川高田地区河川防災ステーション～

このコーナーでは大野川の名所等を紹介してます。第8回目は、洪水時の防災基地、河川防災ステーションを紹介します。

大野川では、過去に幾多の水害を経験し、近年では、平成2年、5年、9年と相次ぐ水害に見舞われました。このような状況下、平成10年度、高田地区(川添橋左岸近く)に洪水時における円滑かつ効果的な水防活動を行うため、防災ステーションが整備されました。

主な施設として、水防センター(現地対策本部・水防資材倉庫)、ヘリポート、水防用資材積み込みヤード等があります。

～いざと言う時に備えています～



写真 - 6 防災ステーション空撮

## お便りコーナー～大野川のお宝写真(はねつるべ)～

上志村の佐々木重信さんからめずらしい写真をいただきました(写真-7)。写真は、大野川の中から姿を現した「はねつるべ(井戸から水田に水を汲み上げる仕掛け)」井戸の底跡だそうです。昔、坂ノ市から大在にかけては、はねつるべを使い水田に水を送っていたそうです。はねつるべの作業は夜通し行われるため、「大在には嫁さんに行くな」と言われていたそうです。このはねつるべ作業の労苦も昭和32年の昭和井路の全域通水により解消されたそうです。



写真-7 はねつるべ井戸の底跡

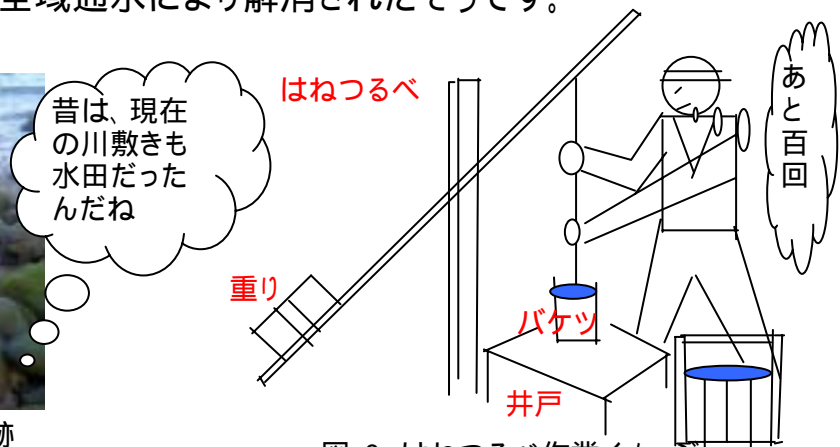
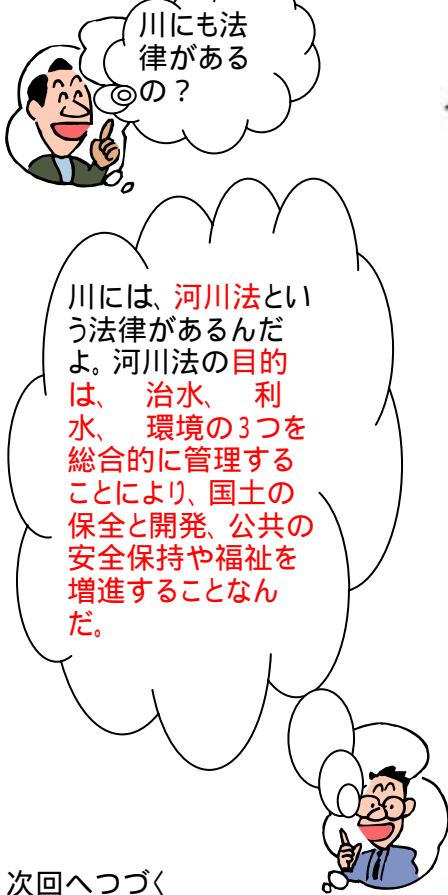


図-3 はねつるべ作業イメージ

**大野川のめずらしい写真がありましたら連絡お願いします！**

# 本誌関連図(大野川出張所管内)

河川豆知識(第6話)



次回へつづく

- 河川法の歴史
- ・明治29年 近代河川法の誕生 (治水)
  - ・昭和39年 治水・利水の体系的な制度の整備 (治水、利水)
  - ・平成9年 治水・利水・環境の総合的な河川制度の整備 (治水、利水、環境)

下図にこれまで「大野川をゆく」で紹介した名所を図示しました



矢印より下流が大野川出張所管内

大野川のプロフィール	
長さ : 107km(九州4位)	支川数 : 138河川
流域面積 : 1,465km <sup>2</sup> (九州6位)	白滝橋で最大流せる水の量: 1秒間にドラム缶47,500個分
流域人口 : 約20万人(2市13町4村)	

今後、皆様のお役に立つように「大野川だより」を充実していきたいと思っておりますので、ご意見やご質問、大野川のイベント情報などお待ちしております。

(発行) 国土交通省 大分河川国道事務所 大野川出張所  
 住所: 〒870-0261 大分市大字志村字川平218-2  
 TEL 097-527-2549、FAX 097-523-2673  
 大分河川国道事務所ホームページ: <http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/>